

# 活用調査表

様式6

<b>技術名</b> 給水管更正技術 SRCT工法 (吸引式パイプライニング工法)	登録 No.
	18K2002

## 施工内容

**工事名** : 津南中等教育学校特別教室棟  
 改修・補強衛生その他設備工事  
**施工数量** : 給水主管 SGP-VA125A他  
 計37.0m  
**工期** : 平成19年6月15日～  
 平成19年10月1日

## 概要

公営住宅・学校・病院等の老朽化した給水管等の配管を吸引式により、管内の錆を除去しエポキシ樹脂ライニングを施して配管の更生をする。またピンホール程度の漏洩箇所の補修も可能な工法である。

## 特徴

- ①既存管をそのまま使用することから、撤去に伴う粉塵・廃棄物の発生が抑制され環境に配慮できる。
- ②更新工法と比較して、工期が短く施工費も安価でありコストの削減が出来る。
- ③不安定な場所での取替作業がなく、安全性が高い。
- ④全工程を吸引式(負圧)で行なうことで、老朽配管や入居者等に対する危険性の心配がない。

## 実施結果

比較した従来技術  
「配管替え工法」

- 長所**
- ・配管の撤去・更新作業がなく3～5割程度の工期短縮が可能。
  - ・既存管を再利用することで、既存設備の延命と廃棄物の発生を最小限に抑え、資源の有効活用が図られる。
  - ・危険が伴う高所やパイプスペース内での配管撤去・取付作業が最小限で済み、作業全体の安全性が高い。

- 短所**
- ・施工規模が極めて少ない場合は施工準備が同じであることから、工事費が割高となる。

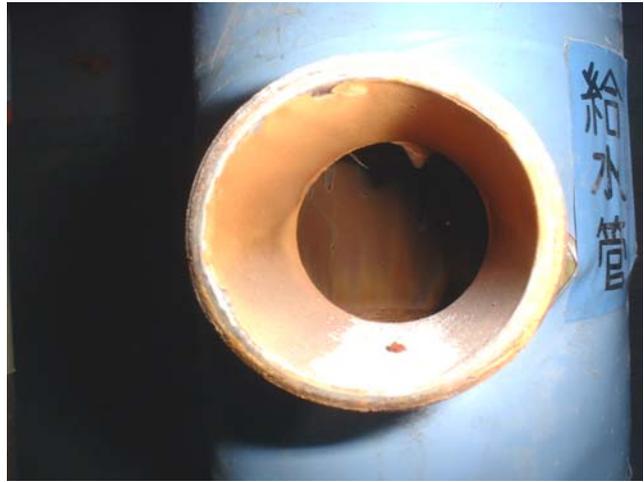
## トライアル工事での評価結果

<input checked="" type="checkbox"/>	経済性	<input checked="" type="checkbox"/>	安全性
<input checked="" type="checkbox"/>	工程	<input checked="" type="checkbox"/>	施工性
<input type="checkbox"/>	品質	<input type="checkbox"/>	環境

◎:優れている   ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている   ×:劣っている

## 新技術問い合わせ先

**会社名** : 株式会社 植木組  
**所属部課**: 環境エンジニアリング部  
**担当者** : 原 克也  
**TEL** : 0257-23-2260



施工前 既存配管内部



クリーニング後 配管内部



ライニング後 配管内部

# 活用調査表

様式6

<b>技術名</b> 給水管更正技術 SRCT工法 (吸引式パイプライニング工法)	登録 No.
	18K2002

## 施工内容

**工事名** : 小千谷高校管理普通教室棟  
 改修・補強衛生その他設備工事  
**施工数量** : 給水主管 SGP-VA125A他  
 計 71.0m  
**工期** : 平成19年6月15日～  
 平成19年10月1日

## 概要

公営住宅・学校・病院等の老朽化した給水管等の配管を吸引式により、管内の錆を除去しエポキシ樹脂ライニングを施して配管の更生をする。またピンホール程度の漏洩箇所の補修も可能な工法である。

## 特徴

- ①既存管をそのまま使用することから、撤去に伴う粉塵・廃棄物の発生が抑制され環境に配慮できる。
- ②更新工法と比較して、工期が短く施工費も安価でありコストの削減が出来る。
- ③不安定な場所での取替作業がなく、安全性が高い。
- ④全工程を吸引式(負圧)で行なうことで、老朽配管や入居者等に対する危険性の心配がない。

## 実施結果

比較した従来技術  
「配管替え工法」

- 長所**
- ・配管の撤去・更新作業がなく3～5割程度の工期短縮が可能。
  - ・既存管を再利用することで、既存設備の延命と廃棄物の発生を最小限に抑え、資源の有効活用が図られる。
  - ・危険が伴う高所やパイプスペース内での配管撤去・取付作業が最小限で済み、作業全体の安全性が高い。

- 短所**
- ・施工規模が極めて少ない場合は施工準備が同じであることから、工事費が割高となる。

## トライアル工事での評価結果

<input checked="" type="radio"/> 経済性	<input checked="" type="radio"/> 安全性
<input checked="" type="radio"/> 工程	<input checked="" type="radio"/> 施工性
<input type="checkbox"/> 品質	<input type="radio"/> 環境

◎:優れている ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている ×:劣っている

## 新技術問い合わせ先

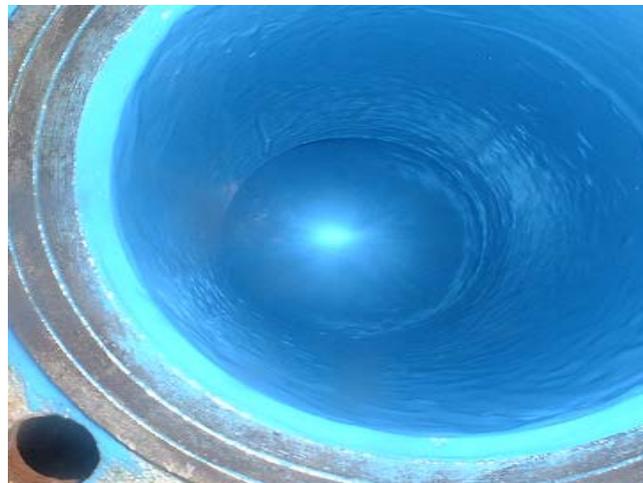
**会社名** : 株式会社 植木組  
**所属部課**: 環境エンジニアリング部  
**担当者** : 原 克也  
**TEL** : 0257-23-2260



施工前 既存配管内部



クリーニング後 配管内部



ライニング後 配管内部